

第5回小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会

令和7年2月13日（木）午後6時30分～
小金井市市民会館（萌え木ホール）3階AB会議室

1 議題

- (1) 前回会議録の確認
- (2) 小金井市における学校部活動の地域連携について
- (3) 小金井市の学校部活動のあり方について
- (4) その他

2 配布資料

- 資料1 小金井市実証実験中間報告
- 資料2 実証実験見学アンケート
- 資料3 実証実験アンケート内容
- 資料4 小金井市の部活動のVISIONづくり
- 資料5 意見・提案シート



『 小金井市実証実験中間報告 』



リーフラス株式会社
2025年2月13日(木)

■ 実証実験モデル

対象校：小金井市立緑中学校

種 目：男子バスケットボール/女子バスケットボール

期 間：令和7年1月～3月

活動日：毎週土曜日(10回程度)

■ 実施スケジュール

活動日(実施済み)：1月11日(土)、18日(土)、25日(土)、2月1日(土)

活動日(実施予定)：2月8日(土)、15日(土)

3月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)

アンケート実施：活動終了後案内 ※別添資料3

■ 本実証実験の背景と目的 ※9月24日検討委員会資料抜粋

○背景

- ・現在、少子化によって子どもの数が減少し、必要な部員数の確保ができず、学校単独でのチーム編成ができないこと。
- ・教員の長時間労働環境に関する問題があること。
- ・学校としては、部活動の指導に関わりたい先生もいれば、専門知識や指導技術不足により、顧問を外れたい先生もいる現状が混在している。

○目的

小金井市部活動における方向性を決めるため、生徒・保護者・学校を対象とした取り組みを展開する。

取り組みの実施後、成功事例の共有や課題解決を検討することで、小金井市らしいモデルを構築する。

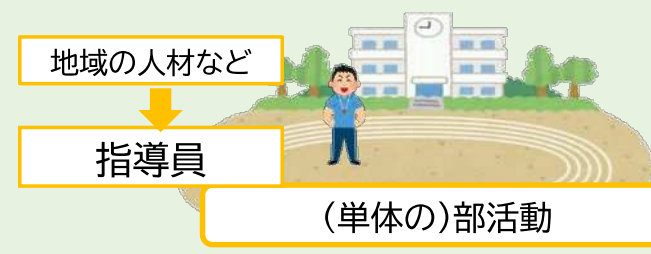


小金井市ならではの部活動を検討

■ 地域連携・移行について ※9月24日検討委員会資料抜粋

地域連携

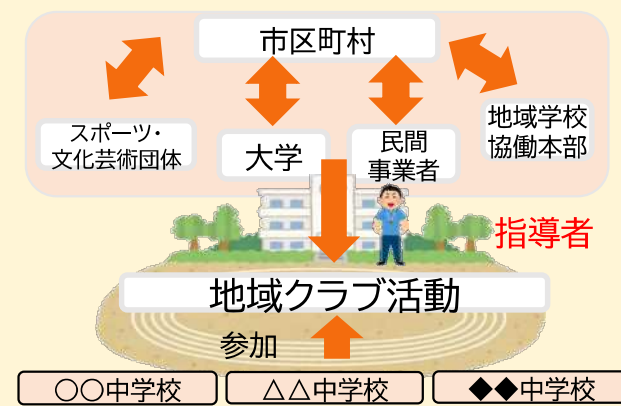
地域連携とは、現在ある学校部活動の指導や顧問業務を、民間指導者や地域クラブ等と連携し運営する形。



地域移行

地域移行とは、学校部活動とは異なる地域クラブを設置して運営する形。

(例)既存の部活を地域クラブへ移行
新規の部活を地域クラブとして設置



現在の実証実験は・・・

地域連携で実施中

小金井市緑中の学校部活動に、民間企業から指導者を配置している形のため

■ 中間報告の位置づけ

1. 実証実験の進捗を共有

→ 実証実験開始(1/11)から現在(2/1)までの計4回分の取り組みを整理し、現状を共有する。

2. 課題の洗い出しと方向性の確認

→ 実験を進める中で見えてきた課題を整理し、解決に向けた議論を行う

3. 最終報告に向けた準備

→ データ収集や評価方法の整理を行い、最終報告でより明確な結論を示せるようにする



今後の改善や方向性を検討するための報告

■ 1月11日（土）男女バスケットボール部※初回実施日

部活	項目	1月11日
男子 バスケ	参加数	14
	欠席(連絡有)	0
	欠席(連絡無)	0
	合計	14
部活	項目	1月11日
女子 バスケ	参加数	15
	欠席(連絡有)	0
	欠席(連絡無)	9
	合計	24

○活動情報

活動時間:15:00~17:15

怪我:なし

指導者:深田・林

巡回:富永

○指導者報告

初回だったため、緊張も見られたが、生徒の話を聞く姿勢が素晴らしかった。

しっかり目をみて、リアクションもしてくれ、アドバイスしたことをすぐに実行しているのので、すぐに話を理解してくれていると感じることができた。

男女ともに練習の様子をみることで、課題や次回の取り組み方がとても明確になった。

○巡回者報告

①実証実験の初回日となり、全体の指導視察や生徒との交流がメインとなった。

②指導員それぞれが生徒と積極的に関わり、信頼関係の構築を図った。

③初回としてはスムーズに進行し、良い形で終了。

■ 1月18日（土）男子バスケットボール部※女子お休み

部活	項目	1月18日
男子 バスケ	参加数	8
	欠席(連絡有)	5
	欠席(連絡無)	1
	合計	14
部活	項目	1月18日
女子 バスケ	参加数	活動なし
	欠席(連絡有)	活動なし
	欠席(連絡無)	活動なし
	合計	活動なし

○活動情報

活動時間: 8:00~11:00

怪我: なし

指導者: 深田

巡回: 富永

○指導者報告

生徒の名前を覚えることができたので、離れた位置でも名前を呼んで声をかけることができた。

また、テーマを決めて指導ができたので、対人メニューや試合で子どもたちが意識して行うことができた。

チームの雰囲気はとても仲が良くアットホームなため、より盛り上がった練習にできれば子ども達のモチベーションも上がるのではと感じた。

○巡回者報告

①名前の確認および呼称の徹底

活動開始前に生徒の名前を改めて確認し、活動中には一人ずつ名前を呼ぶ姿勢が見られた。

②プレーを通じた指導

指導者は生徒と一緒にプレーを行い、動作を見せる形で指導を実施できていた。

③練習メニューの工夫

生徒自身がまず考えてプレーを実施できていた。

■ 1月25日（土）男子バスケットボール部

部活	項目	1月25日
男子 バスケ	参加数	9
	欠席(連絡有)	2
	欠席(連絡無)	3
	合計	14
部活	項目	1月25日
女子 バスケ	参加数	6
	欠席(連絡有)	5
	欠席(連絡無)	13
	合計	24

○指導者報告

活動で何か1つでも技術的なものを持ち帰らせたいと思いつながりメニューを作成している。

その中で、練習で行ったものが試合形式の際、形としてしっかり力を発揮しプレーに出せていたのが、とても嬉しく感じた。

チームでの課題である【声出し】と【ディフェンス】について、次回以降も発信していきたい。

○巡回者報告

なし

○活動情報

活動時間:11:00~14:00

怪我:なし

指導者:深田

巡回:なし

■ 1月25日（土）女子バスケットボール部

部活	項目	1月25日
男子 バスケ	参加数	9
	欠席(連絡有)	2
	欠席(連絡無)	3
	合計	14
部活	項目	1月25日
女子 バスケ	参加数	6
	欠席(連絡有)	5
	欠席(連絡無)	13
	合計	24

○活動情報

活動時間: 8:00~11:00

怪我: なし

指導者: 深田

巡回: 富永

○指導者報告

練習中にパスやシュートフォームなどが気になった際、すぐ全体や個別へ伝えるということができたので、気になったままで終わらせずに改善することができた。また、先生のメニューの希望に対しても柔軟に対応することができた。

今後は、メニューの短い間隔に対して、アドバイスを入れるタイミングがまだ掴めていないため、事前に先生と連携をしながら、アドバイスやポイントをより伝えるよう意識する。

○巡回者報告

- ①2年生がインフルエンザの影響で学級閉鎖となり、参加人数が少なかった。
- ②欠席連絡の定着化が課題となった。
→先生とも連携して、生徒が適切に欠席連絡を行うよう促す。
- ③少人数での指導となったが、先生のメニューを尊重しつつ、よりブラッシュアップできた。

■2月1日（土）男子バスケットボール部※委員見学日

部活	項目	2月1日
男子 バスケ	参加数	13
	欠席(連絡有)	1
	欠席(連絡無)	0
	合計	14
部活	項目	2月1日
女子 バスケ	参加数	17
	欠席(連絡有)	2
	欠席(連絡無)	5
	合計	24

○活動情報

活動時間:8:00~11:00

怪我:なし

指導者:深田

巡回:富永

○指導者報告

コミュニケーションがとれ、指導員にも慣れてきたからこそ、メリハリに課題がでた。

そのため、子ども達の集中力が切れかけている時に、アイソレーションを挟めたことで、そのあとのメニューと試合も切り替えて行うことができた。

また、子どもたち自身も吸収がすごく早いので、練習メニューを対人練習等で実践できている生徒もいた。

○巡回者報告

①検討委員会へ参加している方への見学会を実施し、2名参加いただいた。

②それぞれの役割を理解しながらプレーする意識が芽生え始めており、チームワークの向上が期待される。

③指導員も生徒一人ひとりの成長を意識し、フィードバックを細かく行うことで、技術面だけでなく精神面の向上も促した。

■2月1日（土）女子バスケットボール部

部活	項目	2月1日
男子 バスケ	参加数	13
	欠席(連絡有)	1
	欠席(連絡無)	0
	合計	14
部活	項目	2月1日
女子 バスケ	参加数	17
	欠席(連絡有)	2
	欠席(連絡無)	5
	合計	24

○指導者報告

少人数での指導だったため、気になったパス出しやシュートフォームなど、個別に伝えることができたので、気になったまま終わらせずに改善することができた。また、先生のメニューの希望に対しても柔軟に対応することができたが、メニューの短い間隔に対して、アドバイスを入れるタイミングがまだ掴めていない。事前に先生と連携をし、どういう内容なのかを確認してアドバイスやポイントをより伝えやすくする。

○巡回者報告

なし

○活動情報

活動時間:11:00~14:00

怪我:なし

指導者:深田

巡回:なし

■参加状況について

部活	項目	1月11日	1月18日	1月25日	2月1日	部活	項目	1月11日	1月18日	1月25日	2月1日
男子 バスケ	参加数	14	8	9	13	女子 バスケ	参加数	15	活動なし	6	17
	欠席(連絡有)	0	5	2	1		欠席(連絡有)	0	活動なし	5	2
	欠席(連絡無)	0	1	3	0		欠席(連絡無)	9	活動なし	13	5
	合計	14	14	14	14		合計	24	活動なし	24	24

■欠席連絡について

毎週金曜日17時に、欠席の場合はメールにてご連絡いただくようリマインド発信。
名前・学年・欠席理由を記入いただき、把握できるようにする。

■欠席内訳

部活	項目	1月11日	1月18日	1月25日	2月1日	部活	項目	1月11日	1月18日	1月25日	2月1日
男子 バスケ	体調不良	初回なし	4	0	1	女子 バスケ	体調不良	初回なし	活動なし	1	0
	家庭の事情		0	1	0		家庭の事情			0	1
	通院		1	0	0		通院			0	0
	学級閉鎖		0	1	0		学級閉鎖			3	0
	理由なし		0	0	0		理由なし			1	1
	遅刻連絡		1	0	1		遅刻連絡			0	0
	合計			5	2		1			合計	0

■ 中間報告：実証実験の課題

1. 実証実験前に予想していた課題 と仮定・効果検証

- (1) 生徒の予測
専門性のある指導を受けられた。
顧問の先生の指導の方がよかった。
- (2) 保護者の予測
子どもの部活動環境が良くなった。
運営や指導者の変化が不安。
- (3) 学校の予測
休日の負荷が軽減された。
何も変わらなかった、または負担が増えた。
緊急時の連携が不安。

2. 実際の指導・巡回を通じて 浮き彫りになっている課題

- (1) 指導者の欠席時の対応
→指導員の安定化。
- (2) 連携について
→土曜日のみのため、学校との連携や生徒との関係性など。
- (3) 欠席連絡の定着化
- (4) 学校管理下での対応となっているため、顧問の負担軽減に繋がっているか。
- (5) 保護者へのアプローチ



実証実験前に予想していた課題は、最終アンケートで確認となるが、現時点では大きな問題はなく実施中。
しかし、実際に活動がはじまり、新たな課題があると感じる。

■ 最終報告に向けた懸念点

1. 地域連携と移行のどちらが小金井市のビジョンになるかの現状比較がない
 - 現在、学校部活動に民間企業から指導者を配置している形のためメリット・デメリットを整理する必要がある。
2. 保険の兼ね合い
 - 学校管理下での活動(学校の部活動)と、地域クラブでの活動では適用される保険が異なるため、トラブル時の対応も含めた整理が必要である。
 - 事故発生時の責任の所在(学校または団体・企業)も明確にする必要がある。
3. 団体・民間企業との連携
 - 企業の関与度がどの程度可能かを具体的に整理する必要がある。

■ 今後の方向性について

残りの実証実験期間を活かして・・・

より小金井市に良い部活動環境の実現に向けた検証・改善を進めていきたいと思います。

実証実験見学アンケート

本日は、実証実験見学にご参加いただき、誠にありがとうございます。
今後の改善や取り組みに活かすため、見学された皆様のご意見をお伺いしたく、アンケートを実施させていただきます。
本件に関しまして、ご意見やご不明点・感想等がございましたら、ご回答のほどよろしく
お願いいたします。

自由にご記入ください。
今回の実証実験での練習時間は何時間ですか。 従前の練習時間とは、どの位違いますか。 コロナ前は、どの位違いますか。
最近の出席率はどの位ですか。従前と変化はありますか。 ちまたのワアサでは、中学部活での部員増傾向はバスケットボールのみと聞きますが、実体はどうですか。
平日の練習は従前と変化していますか。
実証実験の経費はガイドラインとどの位違いますか。それは将来的にどう推移して行く見込ですか。
練習の指導は1人体制で大丈夫でしょうか。複数対応の方が良いという ことはあるのでしょうか。
見学参加へのこたあやありがとうございます。

ご記入いただき、ありがとうございました。
回答が必要な内容につきましては、2月13日（木）第五回検討委員会の際にお知らせいたします。
引き続き、よろしくお願いいたします。

土曜日はお疲れ様でした。見学をさせて頂き大変勉強になりました。有難うございました。昇降口で寒い中お待ち戴いた職員の方には、本当に申し訳ありませんでしたとお伝え下さい。今後もより多くの事例を拝見させて頂きたいと思っております。FAXとの事でしたが、調子が悪いのでPCからメールでお送りさせていただきます。

指導が4回目？と言う事もあり、生徒と指導者の息が合っていて、とても良かったと思う。

コーチの方も若く、バスケットボールの専門的な知識もある方と言う事で、コーチが伝えようとしている事、生徒達が聞きたいと感じている事が合致している様でとても良い姿だった。全校・全種目である様な、熱があり、呼吸の有った指導が出来るのであればとても素晴らしい事だと思う。

厳しい言い方をすると、そんなに熱心な指導をされていない顧問の方もいらっしゃる。同じ市内、同じ種目なのに、指導者の熱量の違いで、生徒達の体験機会や活動量が変わってしまうのはとても気の毒だと思う。先生の負担軽減という点からもメリットがあるので、指導にあまり関わりたくない顧問の部活から移行するというのが、双方にとって幸せなのかもしれないと感じた。

コンサルの方のお話では、文科系部活の指導者も派遣されているという事なので、文科系の指導も見たいと思った。当市での実証実験が難しければ、リープラスさんの派遣先へ、希望する委員だけでも良いので管外研修で行かせて頂きたいと思う。

顧問の先生のお話では、当市には学童から始められるミニバスのチームが少ないので、中学から始める子供が多いという事だった。ミニバスチームの多い前任地の八王子から比べると実力的には未だという

事だった。

野球、サッカー等、当市で学童から始められる環境が既に整っているスポーツと同様に、その他の種目でも、土台になる様な学童チーム作りが必要だと感じた。

南小では、レッドイーグルス（野球）、ドンキーコング（サッカー）、ウェールズ（バスケット）と揃って運営が出来ている。底上げを図るには、小学校の管理職に、一度自校に無い種目の視察等に、南小を訪ねて貰うのも良いと思う。

卓球部が渡り廊下で練習をしていたのは気の毒だった。暖房も何もなく、本来の目的外で安全管理もなされていない場所を練習場所としなければならないのは問題だと思った。彼女達は、中学生からスタート組という事だった。折角始めたのに、場所を始め、質の良い練習が確保出来ないのは気の毒と感じた。

先日、狛江市で学童野球チームの打球が、校舎際を歩いていたサッカークラブ指導者の眼球を直撃するという事件が起きた。外傷性白内障を発症しており、学校、野球、サッカーチームの3者で、今も責任や賠償について意思一致が出来ていないと聞いている。当市でも無理な施設利用が無いか、安全管理が十分か検証をしてみる必要があると思う。

市内の施設の少なさ、ボロさは小金井市の宿命の様な物だが、それらを補うには、市内、隣接市の他施設を積極的に利用させて戴く事や、合同練習等も有効だと思われる。勿論、受益者負担が発生する事は否めないが、これは仕方がない。もう、スローガン作りの様な内容の会議は終わりにして、次回の会議では具体的にこの様な話も議題に上げて貰いたい。

【仮】実証実験アンケート内容

◆生徒

- 1.指導員の指導内容について、どの部分が特に役立ちましたか。
 - ・スキルアップ（例：シュート、パス、ドリブルなど）
 - ・チーム戦術（例：ディフェンス、オフENSEの動き）
 - ・フィジカル面（例：体力づくり、ストレッチなど）
 - ・その他（自由記述）

- 2.もっと改善してほしいと感じた点がありますか。
 - ・具体的な技術指導
 - ・チーム全体への働きかけ
 - ・練習メニューのバリエーション
 - ・その他（自由記述）

- 3.指導員がいたことで、練習への意欲は変わりましたか。
 - ・とても高まった
 - ・少し高まった
 - ・特に変わらなかった
 - ・あまり高まらなかった

- 4.今回の練習で、自分自身が最も成長したと感じる部分はどこですか。（自由記述）

- 5.今後の練習でさらに取り組みたいと思う課題は何ですか。（自由記述）

- 6.指導員が行った指導の中で、特に印象に残ったエピソードは何ですか。（自由記述）

- 7.指導員が指導する際、どのような雰囲気でしたか。
 - ・とても親しみやすい
 - ・親しみやすい
 - ・あまり親しみやすくなかった
 - ・全く親しみやすくなかった

- 8.指導員が加わったことで、チームワークに変化を感じましたか。
 - ・大きく改善した
 - ・少し改善した

- ・特に変化はなかった
- ・むしろ悪化した
- ・(具体例があれば自由記述)

9.指導員がいなかった時と比べて、部活動の楽しさはどう変わりましたか。

- ・とても楽しくなった
- ・少し楽しくなった
- ・変わらない
- ・あまり楽しくなくなった

10.今後、どのような指導員に来てほしいですか。(例：今の方、得意なスキル、性格など)

11.指導員の活動日についてもっとも近いものを教えてください。

- ・とても多い
- ・多い
- ・ちょうど良い
- ・少ない
- ・とても少ない

12.11にて選択した理由を教えてください。(自由記載)

13.土曜日に平日には不在の指導員が入ることにより、困ったことはありますか

- ・ある
- ・ない

14.13にて選択した理由を教えてください。(自由記載)

◆保護者

- 1.指導員の指導により、お子様の変化（例：技術面・精神面・意欲など）を感じましたか。
 - ・大きく感じた
 - ・少し感じた
 - ・あまり感じなかった
 - ・全く感じなかった
 - ・（具体的に感じたことがあれば自由記述）

- 2.練習内容について、何か不安や気になる点がありますか。
 - ・具体的に（自由記述）
 - ・特にない

- 3.指導員の指導の結果、バスケットボール以外でお子様にどのような影響がありましたか。
 - ・チームワークや協調性の向上
 - ・自信や責任感の向上
 - ・特に変化を感じなかった
 - ・その他（自由記述）

- 4.今後の部活動運営や指導について、どのような希望がありますか。（自由記述）

- 5.指導員の導入について、継続する場合の期待する点や改善してほしい点をお聞かせください。（自由記述）

- 6.指導員が導入されることで、保護者としての関わり方やサポートに変化はありましたか。（自由記述）

- 7.指導員が指導する際、保護者として気になる点（指導時間、指導内容など）はありましたか。
 - ・非常に気になった
 - ・少し気になった
 - ・あまり気にならなかった
 - ・全く気にならなかった
 - ・（具体的に自由記述）

- 8.運営体制について不安はありましたか。
 - ・とても不安だった
 - ・不安だった
 - ・あまり気にならなかった
 - ・安心だった

- ・とても安心だった

9.毎週活動日前のリマインドメールについて、必要性を感じましたか。

- ・とても感じた
- ・多少感じた
- ・特に変化はなかった
- ・むしろ手間に感じた
- ・(自由記述)

10.リマインドメールの送信日について適切だと感じる日程を教えてください。

- ・1週間前
- ・3日前
- ・2日前
- ・1日前
- ・当日

11.今回の導入について、保護者の立場から見た改善点を教えてください。(自由記述)

12.今後、指導員にどのような役割を期待しますか？(例：技術指導、精神面のサポートなど)

◆顧問

1.指導員が担当することで、練習の効率や内容に変化はありましたか。

- ・大幅に改善した
- ・少し改善した
- ・変化はなかった
- ・むしろ課題が増えた

2.指導員の得意分野（例：個人技術、戦術、体力づくりなど）はどの部分だと感じましたか。
（自由記述）

3.指導員の指導方法に関して、もっと改善できると感じた点がありますか。

- ・練習計画の具体性
- ・選手の個々の特性を考慮した指導
- ・コミュニケーションの方法
- ・その他（自由記述）

4.指導員の存在によって顧問として新たに気づいた課題や良い点はありましたか。（自由記述）

5.今後も指導員を導入したいと感じますか。

- ・とても導入したい
- ・どちらかという導入したい
- ・あまり導入したくない
- ・全く導入したくない

6.5にて選択した理由を教えてください。（自由記述）

7.指導員が入ることで、顧問としての役割や責任感に変化はありましたか。（自由記述）

8.指導員が指導する際、指導者間の意見交換や打ち合わせの頻度は適切だと思いましたか。

- ・十分だった
- ・ある程度できた
- ・あまりできなかった
- ・全くできなかった

9.指導員が指導する際、生徒のモチベーションや意欲にどのような影響を与えたと感じましたか

- ・非常に高まった
- ・少し高まった
- ・特に変化がなかった

- ・むしろ低下した

10. 今後、指導員を導入する場合に期待する役割は何ですか。(複数選択可)

- ・技術的な指導
- ・チーム戦術の構築
- ・試合引率
- ・試合への戦略指導
- ・部員のモチベーション向上
- ・その他(自由記述)

11. 運営体制について不安はありましたか

- ・とても不安だった
- ・不安だった
- ・あまり気にならなかった
- ・安心だった
- ・とても安心だった
- ・その他(自由記述)

12. 今回の指導期間を通じて、部活動運営の改善や課題について新たに気づいた点があれば教えてください。(自由記述)

13. 指導員や受託事業者との情報共有や連携体制について、気づいた点があれば教えてください。(自由記述)

小金井市の部活動の VISIONづくり

価値創造的探究活動(問題解決)のプロセス



創造

- ① 自分の描くありたい姿を構想
- ② 自分達の描くありたい姿を創造

探究

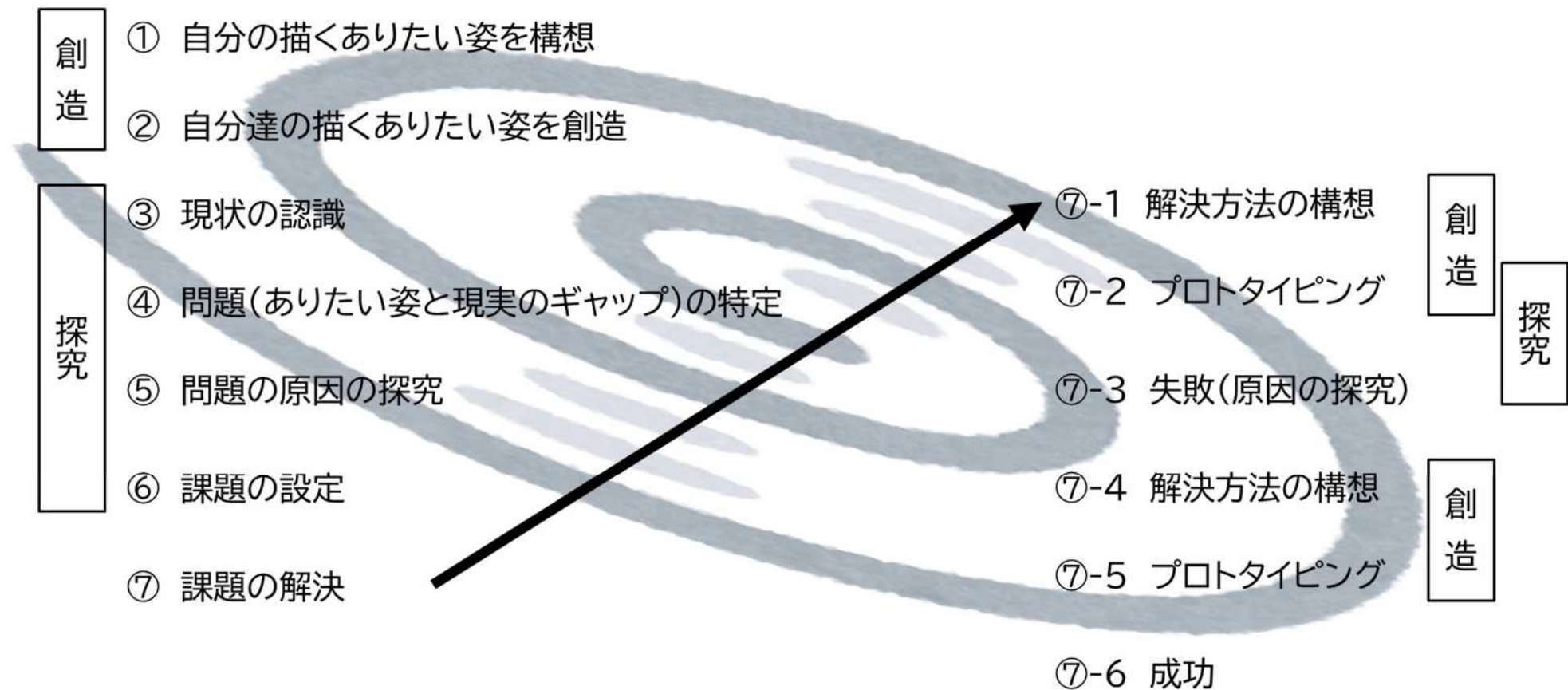
- ③ 現状の認識
- ④ 問題(ありたい姿と現実のギャップ)の特定
- ⑤ 問題の原因の探究
- ⑥ 課題の設定
- ⑦ 課題の解決

- ⑦-1 解決方法の構想
- ⑦-2 プロトタイピング
- ⑦-3 失敗(原因の探究)
- ⑦-4 解決方法の構想
- ⑦-5 プロトタイピング
- ⑦-6 成功

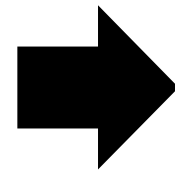
創造

探究

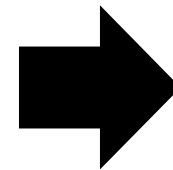
創造



委員の皆様
の
個人案作成



事務局に
よる集約



次回委員会で
事務局案に
対しての検討

○ きれいな言葉になっている必要はありません。

○ グループで検討はしますが、グループで一つにまとめる必要はありません。

部活動のありたい姿を構想する際の現状の課題



部活動をする理由／モチベーションは？

伴走者／指導者の質と量の担保

対象は誰？

活動場所と時間は？

活動成果の発表の場は？

全体の運営はどこがするの？責任の所在は？

安全・安心をどう守る？責任の所在は？

誰が費用を負担するの？

ワークシート

1 どんな部活動にしたいだろうか？

(1) 部活動について、印象に残っているたり、気になっているのを3つくらい書いてみてください。

(3) (2)に関して何か自分で経験したことはありますか？

(2) 上の3つの中で一番気になるのはどれでしょうか？

(4) (2)に関してこうあったらいいなあと思うことはありますか？

バンドやりたい！小学6年生とのエポケー



バンドをやりたい！

音楽好きだから

気持ちいいから

自由な感じ

うーん いやなこととか

なんでバンドやりたいの？

何で音楽好きなのかな？

どんな気持ちかな？

何から自由になるの？

音楽やると嫌なことから
自由になれるんだね

ワークシート

2 エポケータイム

ワークシート1でこうあったらいいなあということは何でしたか？

第1回:それはなんでかな？

第3回:それはなんでかな？

第2回:それはなんでかな？

あなたが実現したい、部活動のありたい姿は何かな？



この後はワークシートは
参考資料です。



3 今はどうなってる？

(1)「実現したいありたい姿」に関連して、自分が知っていることをあげてみよう。

(3)「実現したいありたい姿」に関連して、現在どんなことが行われているか調べよう。

(2)「実現したいありたい姿」に関連して、自分が調べてみたいことは何かな？

(4) 調べたことを書き残しておこう。(どこに書いてあったかも忘れずに)



4 仮説を立てる

(1) 実現したいありたい姿と現状とで何が違うかな？

(2) その違いはどのように生まれているのかな？ 仮説を立ててみよう。

(3) どうしたら仮説を検証できるかな？

(4) 仮説検証の計画を立ててみよう。



5 課題設定

(1) 検証した結果を記録しておこう。

(2) 仮説検証の結果、何が原因だったかな？(たくさんあってもいいよ)

(3) 上に書いた原因を1つか2つ選んで、課題を設定しよう。(〇〇という原因を解消する。)



6 アイディアを出す

(1) 設定した課題をクリアするための方法をできる限り書き出そう。

(2) 左の書いた方法の中から2つくらい、効果がありそうなものを選ぼう。

(3) どれくらい効果が上がるか試す(プロトタイピングの)方法を考えて記録しておこう。



7 プロトタイピング

(1) プロトタイピングの結果を書こう。

(2) どこが成功して、どこが失敗したのかを書こう。

(3) 失敗したこと、もしくはもっと成功するための方法を考えて、書こう。

8 完成！

(1) プロトタイピングの結果を書こう。

(2) 最終成果を書こう。

9 次は何しよう！

次にやってみたいことを書こう。

小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会

意見・提案シート

・委員から出された、「部活動の現場を見たい」という
要望は、議論をすすめる上で必要と考えます。
人数を少なくすることや、場所を分散すること
などの工夫が可能な場合はありますでしょうか。
是非、実現が望める前向きに検討していただく
ことを望みます。

提出日 2024年 12月 18日

※原文のまま配付しますので、氏名について
も公開の対象となります。

氏名 水谷 多佳子

※公序良俗に反する内容や個人情報に関する
内容等の場合、配布しません。

(送付先)

小金井市生涯学習部生涯学習課スポーツ振興係

〒184-8504 小金井市本町6-6-3

連絡先：042-386-2462

FAX：042-383-1133

E-mail：k020299@koganei-shi.jp